

教科・科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
家庭生活教養	4	3年・普通科 スタンダード	選択H	なし	なし

学習目標	よりよい生活を実現するために必要な知識や技術を習得し、実生活に応用できる力を養う。自立した生活を営む上で大切な食生活、住生活、社会生活に必要なマナー、また高齢社会に対応して高齢者の介護や社会福祉援助技術等を中心に学習する。
主な学習内容	食生活・・・日本・西洋・中華料理の歴史や料理の特徴・マナー等について実習を通して学ぶ。 各類型(卵類・野菜類等)に分けて特徴や加工品等の知識をより深く学ぶ。 住生活・・・住居の平面計画や、賃貸住宅に関する基礎的な知識を学ぶ。 日常生活のマナー・・・日常生活に必要なマナーについての知識の習得や実習を行う。 福祉・・・高齢者の介護や家庭看護、福祉援助技術である手話等について基礎的な技術を学習する。 日本の伝承文化・・・着物や風呂敷の基礎的な知識を実習を通して学ぶ。
評価の観点・規準	「関心・意欲・態度」・・・家庭生活や実生活での常識、食生活について関心を持ちその充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。 「思考・判断・表現」・・・家庭生活や実生活での常識や食生活などについて課題をみだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し想像する能力を身につけている。 「技能」・・・日常生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。 「知識・理解」・・・家庭生活や実生活での常識についての役割を理解し、生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価の方法	考査による評価・提出物など授業態度(実技態度も含む)を総合的に評価する。

学期	内容
1 学期	<マナー>冠婚葬祭のマナー、贈り物のマナー、席次、お茶の入れ方、敬語の使い方 <食生活>日本料理の歴史や特徴とマナー・旬や旨味について・調理実習(和食中心) 中間考査
	<日本の伝承文化>着物・帯の特徴と種類、浴衣の着方・扱い方、風呂敷の使い方、労働について <食生活>穀類(主食になるもの)について・肉類について・魚介類について・調理実習(和食中心) 期末考査
2 学期	<住生活>住居の歴史と建築用語、住空間の計画、部屋を借りるには <福祉>手話の基礎(指文字・簡単な挨拶・名前、家族、趣味、仕事の紹介・誕生日と数字・手話ソング) <食生活>中国料理の歴史や特徴とマナー・卵について・野菜について・調理実習(中華中心) 中間考査
	<福祉>清潔の援助・食事の援助・薬の正しい使い方 <食生活>西洋料理の歴史や特徴とマナー・牛乳、乳製品について・果物について・調理実習(洋食中心) 期末考査
3 学期	<福祉>バイタルサイン、感染症 <食生活>基本的な料理用語やお菓子の用語について・調理実習(お菓子中心) 学年末考査

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	授業では、プリント・その他必要なものは必ず用意すること。実習にふさわしい身なり(調理実習ではエプロン等)で積極的に参加し、レポート等の提出物は提出期限を守ること。実習費(年間5000円位)が必要です。手話は外部の先生にお願いしているので、失礼のないように意欲的に取り組むこと。ただし、先生の都合により実施できない場合があります。
--	--